

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう！

第96回メーデー

MAY DAY 福島県中央集会



5/1 (水)

13:30スタート
(雨天決行)

まちなか広場

(福島市本町 17-1)

メーデーは、1886年5月1日、「1日8時間労働」を要求して、アメリカ、ヨーロッパなど世界の労働者が団結し、デモとストライキに立ち上がったのが始まりです。今年も世界中でとりくまれます。「すべての労働者の賃上げを！」「消費税減税・インボイス廃止せよ！」「日本の農業と食料を守れ！」「社会保障の抜本的拡充を！」「大軍拡やめよ！」などを掲げ、アピールします。ぜひご参加ください！

プログラム

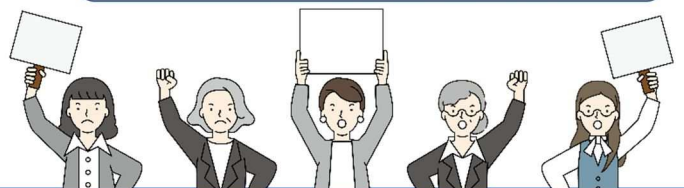
13:30~	オープニング
14:00~	メーデー集会
15:10~	スタンディングアピール
15:30~	表彰&大抽選会
16:00	終了

今年も「60秒アピールコンテスト」を開催。プラカードやコスプレで、みんなの要求をアピールしよう！

集会の後は、スタンディングアピールを行います。

(国道13号線と駅前通りの交差点付近)

今年も豪華景品の当たる
大抽選会を実施します!!



主催:第96回メーデー福島県中央集会実行委員会

《事務局》福島県労連 TEL 024 (522) 3097

福島地方労連 TEL 024 (523) 5540

- ◆ 車でお越しのかたは、近隣の有料駐車場をご利用ください。台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせや公共交通でのご来場をお願いします。
- ◆ 感染症の拡大状況により、マスクの着用、手指消毒等をお願いする場合があります。

ご存知ですか？メーデーストーリー

起源 今から100年以上も前の1890年5月1日、1日8時間労働を要求して、アメリカ、ヨーロッパなど世界の労働者たちが団結し、デモとストライキに立ち上がったのが始まり。翌年の第2回からは、戦争反対・平和擁護などの社会的政治的要求が結合されました。メーデー（May Day—5月の記念日）は、「万国の労働者、団結せよ」という国際的に記念すべき日なのです。



1886年5月1日、アメリカの労働者が「8時間労働」を要求しストライキで立ち上がる。
1890年、アメリカ・ヨーロッパの労働者が、ともに5月1日を国際統一行動としてメーデーが始まる。

なぜ5月1日か その以前からアメリカでは、1日8時間労働を要求し、切実なたたかひがくり広げられていました。1886年5月1日、シカゴを中心に、全国11,562企業、約35万人の労働者が8時間労働を要求して、ゼネスト（いっせいに行われる大規模なストライキ）に参加、約20万人の労働者が雇い主に労働時間短縮を約束させました。そして、アメリカ労働総同盟の会長が、1889年にパリで開催された国際労働者大会で、同じく悲惨な労働条件に苦しむ各国に対し、1890年5月1日—たたかひへの国際統一行動をよびかけ、第1回のメーデーとなったわけです。

日本では 第1回メーデーは、1920年（大正9年）、上野公園で開催されました。参加者数は、5千人～1万人とされています。治安警察法17条の撤廃、失業の防止、最低賃金制の確立が要求でした。第16回まで毎年続きましたが、2・26事件で、東京に戒厳令が交付されたのを契機に戦前のメーデーは途絶えました。

しかし、戦後の敗戦にともなう民主化の中、労働組合も合法化され、労働運動は急速に高揚。1946年（昭和21年）、第17回メーデーとして復活。それ以降、安保条約、ベトナム戦争反対、大幅賃上げなどその時々の政治・経済・社会情勢を反映した要求を掲げ、毎年開催されてきました。



日本では1920年に第1回メーデーが行われ、軍国主義のもとで禁止されるが、1945年に復活。今年は何回目か、その時々の要求をきっかけに団結し、大きなアピール行動をおこす日です。

福島では 郡山で、東北初のメーデーが1925年（大正14年）5月1日に開催されています。郡山駅前、地元郡山はもちろん、福島市、大沼郡、川俣、四倉、常磐、宮城県白石等々から代表200人が集まり、戦前の県内では最初で最後の公然たるデモを行っています。

動画「メーデー100年の歴史」(8分40秒)

Youtubeでご覧ください

